

令和4年度
(2022年度)

市駅周辺まち活性化部の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- ①地域資源を生かした魅力あふれる拠点づくりの推進
- ②枚方市駅周辺再整備に向けた機運の醸成
- ③国・大阪府をはじめ事業者など様々な関係者との連携、協力
- ④議会や市民への丁寧な情報共有

重点的な取り組み：枚方市駅周辺再整備の推進（③街区を除く）

枚方市駅周辺再整備については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けて、自然や歴史文化といった多くの地域資源を生かしながら広域都市圏の中心的な機能を集積する広域中心拠点を目指し、令和3年3月に策定した枚方市駅周辺再整備基本計画に基づき取り組みを進めています。

具体的には、④⑤街区のまちづくりでは、実現性や魅力をさらに高めていくため、令和3年度に市民意見聴取などを踏まえて作成したまちづくりの考え方（骨子案）などを基に、民間事業者に対して「サウンディング型市場調査」を実施し、④⑤街区の市有地を有効活用したまちづくりの考え方（案）として、新たな土地活用や誘導するコンテンツの考え方を示していきます。

併せて、国・大阪府・市有財産の最適利用のまちづくりを目指し、国・大阪府と更に情報の共有を図りながら、新庁舎の位置や都市計画の決定に向けた取り組みを進めます。

①②街区のまちづくりについては、権利者の生活再建を踏まえた可能性調査等を行い、まちづくりの考え方（案）を示していきます。

また、持続的に魅力が高まるまちづくりに向けて、令和3年度から引き続き、主体的に取り組むプレーヤーの発掘や育成など、エリアマネジメントの仕組みづくりに繋げる社会実験などを実施し、地域主体の取り組みに繋ぐことを目指します。



(図) ④⑤街区のまちづくりの考え方（骨子案）

実績	<p>①「枚方市駅周辺再整備基本計画」に基づき事業を推進</p> <p>②エリアマネジメントの導入に向けた検討</p>
説明	<p>①再整備基本計画については、サウンディング型市場調査の結果などを基に、④⑤街区の市有地を有効活用したまちづくりの考え方(案)を示し、合わせて、①②街区の可能性調査・検討などを踏まえながら、まちの魅力やまちづくりの実現性をさらに高めるため、再整備基本計画の改訂に向け改訂版(素案)を示すなど、取り組みを進めました。今後、パブリックコメントを実施し、再整備基本計画を改訂します。</p> <p>また、④⑤街区においては、土地区画整理事業の実施に向け、地権者勉強会などを実施しました。</p> <p>②持続的に魅力が高まるまちづくりに向け、エリアマネジメントの仕組みの導入及び公共空間の活用を検討するため、令和5年3月にニッペパーク岡東中央等で社会実験を行いました。</p> <p>引き続き、場所や時期などを考慮した社会実験などを実施し、主体的に取り組むプレーヤーの発掘や育成など、地域主体の地域特性を最大限に活かした取り組みに繋ぐことを目指します。</p>

重点的な取り組み： ③街区における枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

③街区のまちづくりは、他の街区に先駆け駅前交通広場及び区画道路等の公共施設の整備による交通結節点機能の強化と合わせて、土地の高度利用による多様な都市機能の集積と都市居住の誘導を図るとともに、歩行者回遊動線の形成、防災機能の強化に向け、権利者主体の市街地再開発事業として実施しており、令和5年度以降に建物等工事の順次完了を目指しています。

令和4年度は、市街地再開発組合が予定している既存施設の解体工事を完了させ、建築工事の推進を図るため、引き続き、国、大阪府と連携して補助金や技術的支援を行います。

実績	<p>①枚方市駅周辺地区市街地再開発組合(以下「組合」という。)に対する技術的支援、財政的支援を実施。</p> <p>②組合などと連携し、公共施設(駅前広場)の計画を推進。</p>
説明	<p>①組合に対して、事業推進のため、組合や国、府と連携し、技術的・財政的支援を行い、すべての工区において施設建築物建築工事が着工しました。令和5年度は公共施設である駅前広場の工事着手が予定されており、引き続き、再開発事業推進、令和6年度のまちびらきに向けて支援を行っていきます。</p> <p>②本再開発事業の公共施設整備について、組合や関係部署、公共交通事業者などと連携し、北口駅前広場のより安全性を高めたレイアウト案を作成し、公共施設整備に向けた取り組みを進めました。</p>

重点的な取り組み：新庁舎整備に向けた検討

新庁舎整備については、国との合同庁舎化の検討やサウンディング型市場調査の結果を踏まえ作成する④⑤街区の市有地を有効活用したまちづくりの考え方（案）と整合を図りながら、ICTを積極的に活用することで、ワンストップ化が図れる総合窓口の検討やスマート自治体を実践できる、よりコンパクトな新庁舎を目指して検討を進めます。

③街区での行政サービス再編については、枚方市駅周辺の魅力や行政サービスの質、市民の安全性・利便性の向上を図るため、市街地再開発組合と連携を図りながら、内装設計の完了及び不動産の取得手続きを順次進めていきます。

実績	①国・枚方消防署との意見交換及び新庁舎規模の最適化の検討。 ②枚方市駅前行政サービスの再編に係る内装実施設計の実施。
説明	①国（枚方税務署）との合同庁舎化や枚方消防署の老朽化対策について、関係者と最適な事業手法や規模等について意見交換を行いました。また、基本構想に掲げる新庁舎の想定規模（約 25,000 m ² 以下）の具体化を図るため、新庁舎整備基本計画策定の考え方（案）の作成を行いました。 令和5年度は、引き続き関係者と協力しながら新庁舎の規模に関する検討を進めていきます。 ②市街地開発事業における保留床の取得を行いました。各フロア的设计業務については関係法令の変更に伴い、引き続き設計業務を行っています。 令和6年度の供用開始に向けて、設計業務の完了をめざし、什器などの準備を進めていきます。